

# 新茶の季節が今年もやってきました

# お茶新聞



2004  
新茶号

発行元  
龜山市辺法寺町  
811  
市川大楽園製茶  
お茶新聞編集部  
電話 0595-85-0321  
FAX 0595-85-3005  
<http://www.shopmie.com/dairakuen>

**今年の新茶** 今年、3月が暖かく、

お茶の芽が早く出たようです。4月も、晴れた日は、暖かく、雨も適当にもらい、今のところ、きつい霜もなく順調です。今年はその畑も、同じぐらいの新芽の伸び方です。いま茶畑を見ると、黄緑色にふくらんだ感じに見えます。お茶が始まるといっせいに茶刈をしなければなりません。今年はいつもの上に忙しくなりそうです。

## お茶のいれかた裏街道 その7

暖かくなった、この季節、お湯をよく湯冷ましたほうがよいようです。屋外での出店販売をずっとやってきて、冬の寒いときには、お湯の温度がある程度熱くないと、口あたりが悪く、ぬるく感じると思っていました。また、お茶の冷めるのも早いので、余計にそう思いました。でも、気温が暖かくなった今ごろは、じっくり湯冷ましをしたほうが、おいしいようです。外気が暖かいと、ぬるめのお茶でもおいしく感じる事ができるようです。

## 赤い乗用摘採機

私どもの茶園でも、乗用摘採機という、人が乗って刈る大型機械を使う茶園が、多くなりました。緑の茶園の中で目立つ、赤い機械です。初めて乗ったときは、バカでかくみえました。運転席に座るとすごく見晴らしがよいです。

コンマミミリで刈る高さを調整でき、深緑色をした親葉(おやば)は刈らずに、お茶の新芽だけをきっちり刈ります。天気の良いときに緑色のじゅうたんの上を、これで進んでいくのは、すごく気持ちが良いです。仕事で追われてなければ、の話ですが。



茶園の中の姿もいすれご紹介します。

## 茶畑便り

雨の日には、お茶は刈りません。お茶の葉が濡れてしまうと品質に影響するからです。ですから、お茶刈をしても、雨が降ってくる、お茶刈を止めてしまいいま。雨がぱらついてきたので、刈るのをやめ、お茶刈機をかたづけしていると、パーツと晴れてきたりします。また、用意して、刈りだすと今度は土砂降りになったり・・・ここに、お茶農家の悲喜劇があります。新茶の季節は雨の日も多く、天気も変わりやすいです。3日間続けて雨が降って製茶できずに困ったこともあります。雨の間もお茶の芽は伸びていきます。何日も徹夜の製茶が続いたときに朝から雨が降ると、正直ホツとします。こんなときお茶農家同士が会うと、あいさつ代わりに「ええ雨やな。」と言ひ合います。

## 手もみ体験イベントやりました

二月二十二日、以前からやりたいと思っていた手もみ茶教師の資格を生かした、手もみ茶体験イベントを行いました。当日、店長の私、目当ての何人かの女性の方が、来店してくれました。中でも、私と、日本茶インストラクターと一緒に活動している、前川さん(写真左)とその友人の田中さんが、お茶になるまでもみ上げてくれて、5時間あまり、午後7時までもんでいってくれました。生の葉がお茶になるところを見られるめったにない機会だったせい、みんながなげばって、もんでくれました。私は、ちょっと触れてもらうぐらいに思っていたので、感激しました。



今後、手もみのイベントを行うときも、自由にお茶に触れていただきませので、興味のある方は、是非ご参加ください。